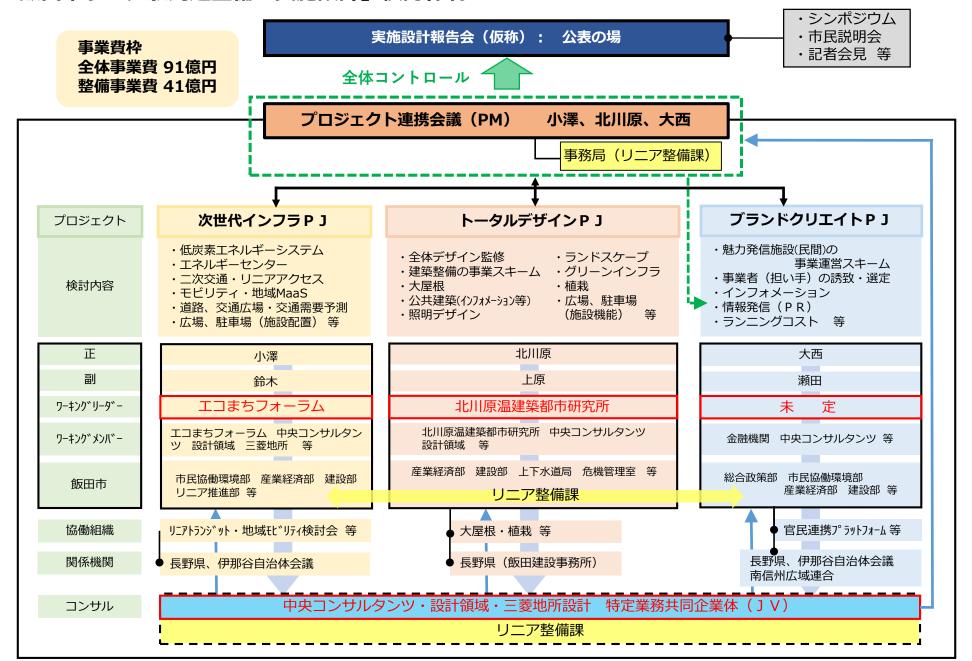
駅周辺整備の検討状況について

リニア推進部リニア整備課

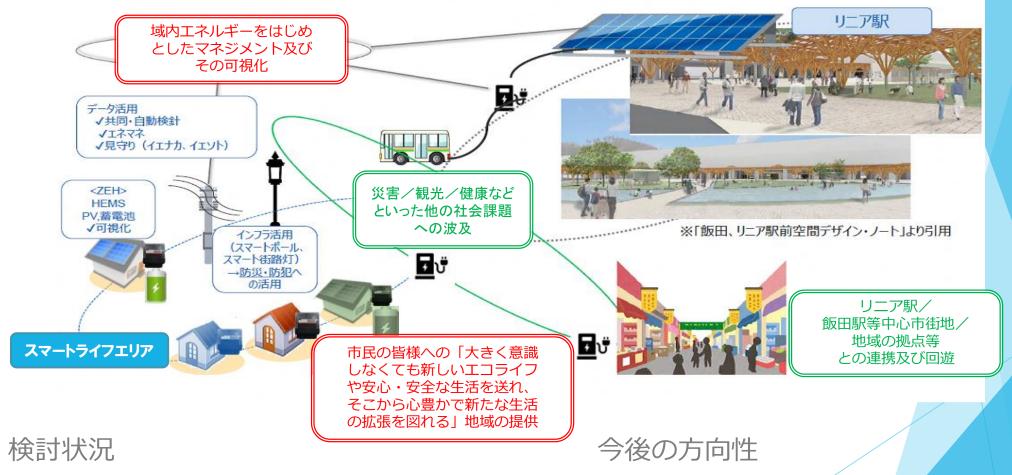
飯田市リニア駅周辺整備「実施設計」検討体制



次世代インフラプロジェクト

次世代のエネルギーに関する取組

リニア駅のみならずその周辺の活用も視野に入れた次世代のエネルギーシステムの検討

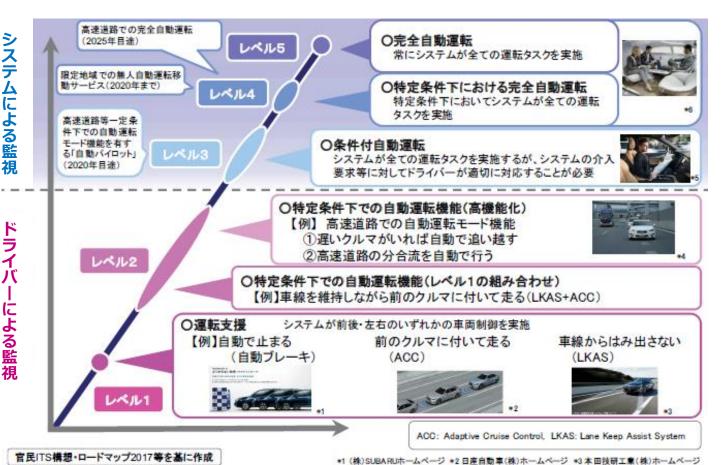


◆ エコまちフォーラムと中部電力等を中心に、駅及び その周辺の活用も視野に入れたエネルギーエリアの 構築に向けた検討を行っている。 ▶ 大屋根及びグリーンインフラの検討に基づき、 駅周辺における太陽光発電等を活用した低炭素 エネルギーシステムやエネルギーセンターにつ いての検討を進める。

次世代のモビリティに関する取組

検討状況

◆ 交通事業者、有識者、支援チームによる地域モビリティ検討会を開催し、リニア駅の高度なトランジットハブを具現化するために検討を進めている。また、 庁内に新たなモビリティ検討チームを組織し、自動運転、MaaS (Mobility as a Service)、EVバス等の新技術について勉強会を開催している。



*4トヨタ自動車(株)ホームページ *5 Volvo Car Corp.ホームページ *6 CNET JAP ANホームページ



EVバス試乗会のレンタル車両





EVバスラッピング案

今後の取組

信南交通㈱、中部電力㈱など、様々な事業者と連携しながら、地域モビリティビジョンの検討や、地域 MaaS、高度トランジットハブ、乗換案内サービスの検討を進める。

ブランドクリエイトプロジェクト

現在の検討状況

- ◆ デザイン会議における官民連携の検討をもとに、地域全体の魅力発信に向けた協働のプラット フォームの構築について意見交換を行っている。
- ◆ 庁内関係課と魅力発信や情報発信、担い手等について意見交換を行うととともに、プロジェクトの進め方についても検討を進めている。

今後の方向性

- ▶ 協働のプラットフォームの構築に向けた検討を進める。
- ▶ 県や広域連合等とも調整を行いながら、仕組みや手段の構築に向けた検討を進める。

持続可能な運営の仕組みづくり

・関係課ヒア リング ・事業者ヒア リング

・意見交換会

プラットフォー ムの組織化

事業者の発掘・育成・選定

新たな人材の参画

リニア駅前での 事業企画 アイデア

自発的な

相談

コラボ

新規創業



事業連携

3

市民参加型イベント



事業化

開

発

これまでの「つくる目線」の整備

使い手が計画に関わっていないため、使いにくい空間になることも...



リニア駅前空間が目指す「つかう目線」の整備

行政と使い手が計画段階から協働することで、持 続性の高い空間を実現



連携・ フォロー

地域事務局 (地元機関)

運営協力

参画 支援体制

形成

サポート

・助言

・情報提供

・プランの壁打ち

・資金調達

・マッチング

行政 支援機関 業界団体等

協働のプラットフォーム



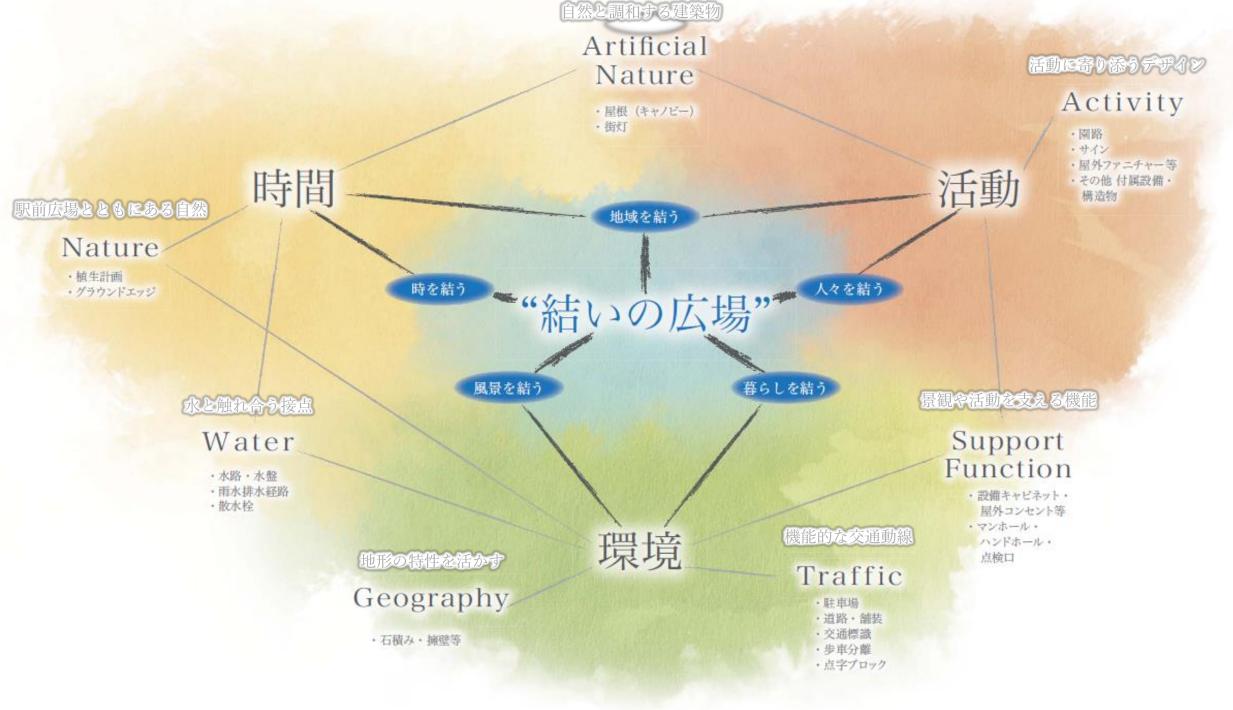
トータルデザインプロジェクト

現在の検討状況

- ◆ 91億円(整備費41億円)の事業費を念頭に置きながら、現在は、実施設計 J V の土木設計を見据えた 大屋根、グリーンインフラ、ランドスケープ等について検討を行っている。
- ◆ 建築の設計に向け、発注方法やプロジェクト体制についても検討を進めている。

今後の方向性

- ▶ 実施設計JVとの打合せを密に行い、土木設計との擦り合わせを進める。
- ▶ トータルなデザイン等の調整に向け、JR東海の駅舎設計との擦り合わせを進める。





駐車場









樹状構造

屋根(キャノピー)





レシプロカルグリッド(相互依存形式の格子構造) 人々が互いに支え合うイメージを大屋根の構造そのもの にすることで「結いの広場」のコンセプトを体現

レシプロカル構造



フラクタル構造

